

令和8年度第1回香取警察署協議会

1 開催日

令和8年6月25日（木曜日）

2 開催場所

香取警察署

3 出席者

・協議会委員 7人 ・警察署 13人

4 業務報告

（1）管内の犯罪情勢と抑止対策について

（2）交通事故発生状況について

（3）特殊詐欺等抑止に関する対策機器の紹介

5 警察署からの諮問事項

【諮問】犯罪抑止につながる対策について

【答申】対面型とソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の両面を生かした広報活動

近年は、年齢を問わずSNSを利用する人が増えており、多くの方へ情報を発信する手段としてSNSは非常に有効であることから、各警察署が公式SNSを開設・活用することが望ましい。

一方で地域を担当する警察官の顔が見えることで、住民の安心感や親近感を与えることができる。

そのため、警察官が地域のクラブ活動や会合、各種イベントなどに積極的に参加し、住民と直接交流しながら広報活動を展開することも重要である。

【答申】行政機関と連携した各種広報活動

市町で実施している防災行政無線は、聞きづらい場合もありますが、地域住民への広く情報を伝達する有効な広報手段であり、防犯に関する内容を継続的に放送することで高い犯罪抑止効果が期待できる。

また、行政では家庭用防犯カメラの設置に対する補助制度を実施していることから、警察と行政が連携し防犯カメラの設置促進や各種防犯施策を推進することで地域全体で犯罪が起こりにくいまちづくりにつながると思う。

【答申】犯罪の低年齢化に伴う広報資料の作成

近年、犯罪の低年齢化が進んでいることから、学校における防犯教育として、子供が理解しやすいポスターやチラシなどの広報資料を積極的に活用することが効果的だと思う。

また、防犯教育は子供だけを対象とするのではなく、保護者に対しても不審者への対応方法や犯罪の手口、防犯対策などについて広報啓発を行うことで家庭全体の防犯意識の向上に繋がり、犯罪抑止効果が期待できる。

【答申】地域全体への広報活動

組織や団体に所属していない方々にも防犯情報が届くような広報として、病院の待合室や飲食店にチラシや二次元コード（安全安心メール）を置き、診察の待ち時間や料理が届くまでの時間（すき間時間）に見れるような広報物があれば良いと思う。

6 委員からの要望・意見等

【質問】 ちば安全・安心メールをもっと普及させたほうが良いと思う。

安全安心メールは配信希望の警察署が選択できて、自分が住んでいる、または働いている地域を設定すれば発生状況や行方不明の関係などの情報が通知され地域の状況がよく分かる。

しかし、このメールを設定するためには千葉県警察のホームページから二次元コードを読み取り設定するのであまり普及はしていないように思うので、この二次元コードを諮問の時に話となった、病院の待合室や飲食店のテーブルなどに掲示すればもっと多くの人の目にとまって普及が加速し、地域住民の防犯意識も高まると思います。

【回答】 貴重な御意見ありがとうございます。

犯罪抑止に関する広報活動方法として参考とさせていただきます。

7 答申等に対する措置結果

なし